

学習の意欲等に関するアンケート

●「勉強が好きだ」と回答した児童生徒の割合は、ほとんどの学年で5ポイント以上県平均を上回っています。また、95%以上の児童生徒が「勉強は大切だ」と回答し、90%近い児童生徒が「学校の勉強がよく分かる」と回答しています。



●「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合は、すべての学年で県平均を大幅に上回っています。(グラフ①)各校では、地域の協力を得ながら、働くことの意義や職業観の醸成など、発達段階に応じたキャリア教育に力を入れていることがうかがえます。

●「学校がない日(休日)、1時間以上勉強する」と回答した児童生徒の割合について、昨年度は県平均を下回る学年がありましたが、今年度は全学年で上回っています。(グラフ②)各校で、昨年度の課題を受け、改善に取り組んだことがうかがえます。平日、じっくり家庭学習へ取り組めない分を、休日に補っていると考えられます。

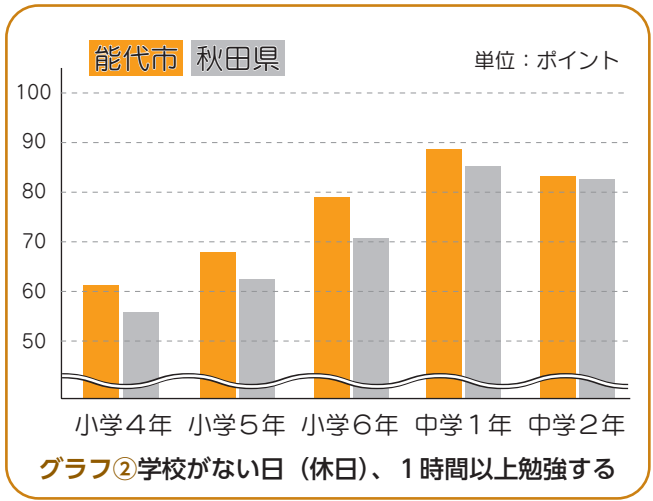
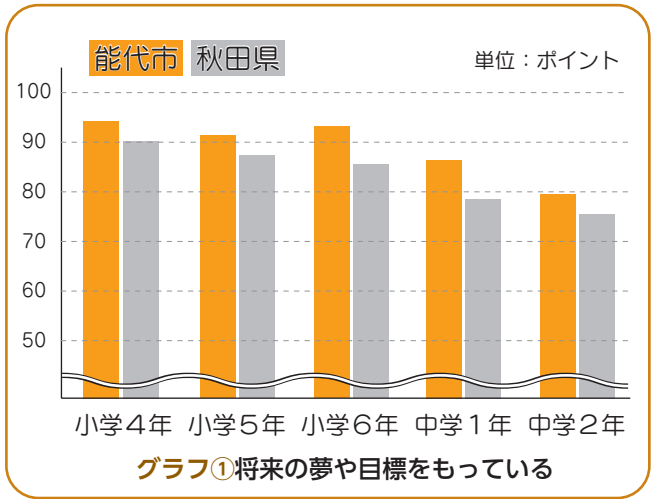


●授業でのICT機器の活用に関する質問項目では、すべて県平均を上回り、タブレット端末の本格導入後、有効に活用していることがうかがえる結果となりました。

ほぼすべての授業にタブレット端末 ICT活用が進む能代一中を取材!



県のICT活用推進校として、令和3年度からタブレットや電子黒板などを全教科の授業で使用しています。タブレットは1人1台。学習問題を多様な方法で調べたり、発表する内容をクラス全員で画面共有したり、学習ツールの一つとして定着しています。タブレットを持ち寄りながら意見交流するなど、生徒自身にしっかり考えさせるのも同校が大切にしている部分。自主性を伸ばしながら、学ぶ楽しさを育てています。



当たり前のことに 徹底して取り組める能代っ子

家庭での規則正しい生活習慣という土台があることで、秋田の探究型授業が機能し、子どもたちの主体的な学びにつながっています。また、学校の授業と家庭学習との連動も、良好な学習状況に結び付いていると考えられます。

凡事徹底。当たり前のことに徹底して取り組めるのが能代っ子の強みです。

